

# 「GW2050 PROJECTS 推進協議会」の設立について

## 基地返還跡地利用と那覇空港機能強化

沖縄県経済団体会議、沖縄未来創造協議会、那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄懇話会、那覇空港拡張整備促進連盟は、基地返還跡地の一体的な利用と那覇空港の機能強化を図り、真に日本を牽引し、次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」として、その将来像の具現化を図ることを目的に「GW2050 PROJECTS 推進協議会」を設立したことを発表致します。

「GW2050 PROJECTS 基本構想」は、那覇空港から普天間飛行場に至る西海岸地域を価値創造重要拠点と位置づけ、更地からの広範囲での面的開発が期待できる基地返還跡地のポテンシャルを活かし、真に日本を牽引する沖縄の経済発展を目指すものです。

また価値創造重要拠点においては、「沖縄らしい産業の創出」、「持続的発展を担う人材育成」、「那覇空港を起点とした交通網の整備」および 2050 カーボンニュートラルに向けた「グリーンエネルギー社会の実現」の4つの柱を中心に、沖縄の国際競争力の強化・持続的発展を目指した調査・検討を行います。

### GW2050 PROJECTS PROJECTSの概要

那覇空港から普天間飛行場に至る西海岸地域を価値創造重要拠点と位置づけ、次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」として、将来像の具現化を図る

**01 価値創造重要拠点**  
更地からの広範囲での面的開発が期待できる基地返還予定地は、沖縄が飛躍的に発展し、日本経済を牽引するポテンシャルであり、特に那覇港湾施設、牧港補給地区、普天間飛行場周辺エリアにおいては、世界に選ばれる沖縄を目指した中心的なフィールドとして県全体での役割・機能分担を見据えた機能的なまちづくりに繋げていく。  
また、大規模まちづくりと連動し、観光・産業の玄関口である那覇空港の機能強化・拡充を図る。

**02 価値創造を支える4つの柱**  
価値創造重要拠点における「沖縄らしい産業の創出」「持続的発展を担う人材育成」、「那覇空港を起点とした交通網の整備」および2050カーボンニュートラルに向けた「グリーンエネルギー社会の実現」の4つの柱を中心に、国際競争力の強化を図る。

Gate Way 2050

世界と日本を繋ぐ2050年の沖縄

**01 価値創造重要拠点**

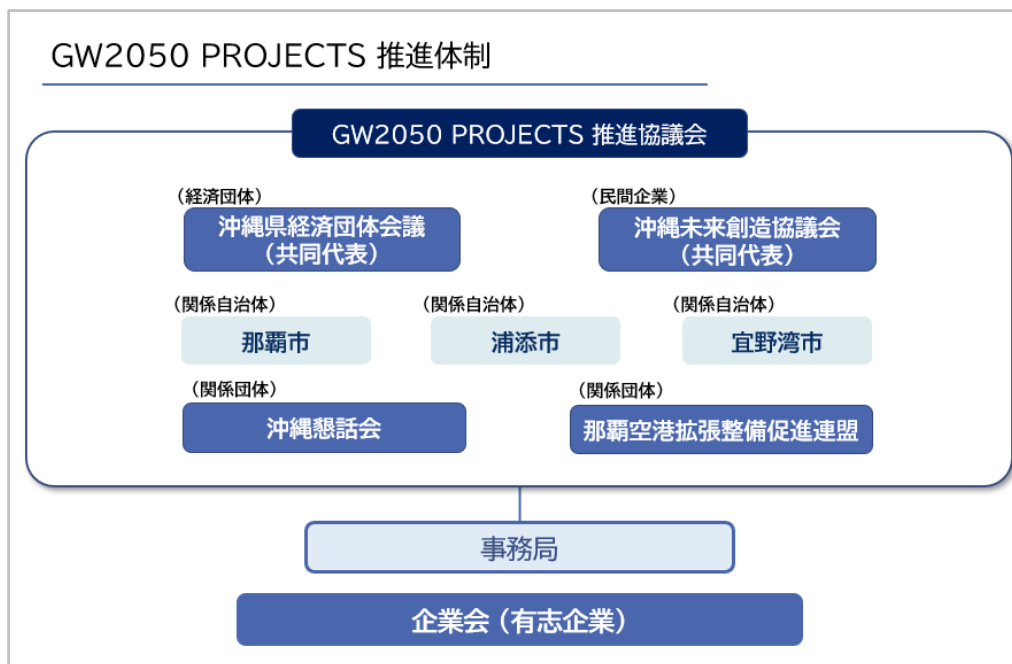
- 那覇空港
- 那覇港湾施設
- 牧港補給地区
- 普天間飛行場

**02 価値創造を支える4つの柱**

- 1 新たな産業
- 2 高度人材育成
- 3 空港起点の交通ネットワーク
- 4 カーボンニュートラル

## GW2050 PROJECTS 推進協議会 について

次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」構想の実現のため、民間が主導し、県内各経済団体、関係自治体が連携する「GW2050 PROJECTS 推進協議会」は、以下の団体・自治体で構成し、協議会の運営を支援する有志企業7社からなる「企業会」および協議会の運営や具体的な調査・具体的な検討を行う事務局を設置します。



### ■ 推進協議会 (理事)

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| (1) 沖縄県経済団体会議 議長         | 金城 克也 (代表理事) |
| (2) 沖縄未来創造協議会 代表理事       | 本永 浩之 (代表理事) |
| (3) 那覇市長                 | 知念 覚         |
| (4) 浦添市長                 | 松本 哲治        |
| (5) 宜野湾市副市長 (宜野湾市長職務代行者) | 和田 敬悟        |
| (6) 沖縄懇話会 代表幹事           | 安里 昌利        |
| (7) 那覇空港拡張整備促進連盟 会長      | 石嶺 伝一郎       |

### ■ 企業会 (五十音順)

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| (1) 沖縄セルラー電話(株)特別顧問  | 菅 隆志   |
| (2) 沖縄電力(株) 代表取締役社長  | 本永 浩之  |
| (3) (株)沖縄海邦銀行代表取締役頭取 | 新城 一史  |
| (4) (株)沖縄銀行代表取締役頭取   | 山城 正保  |
| (5) (株)國場組代表取締役社長    | 内間 耕   |
| (6) (株)琉球銀行 代表取締役会長  | 川上 康   |
| (7) (株)りゅうせき代表取締役社長  | 根路銘 剛宏 |

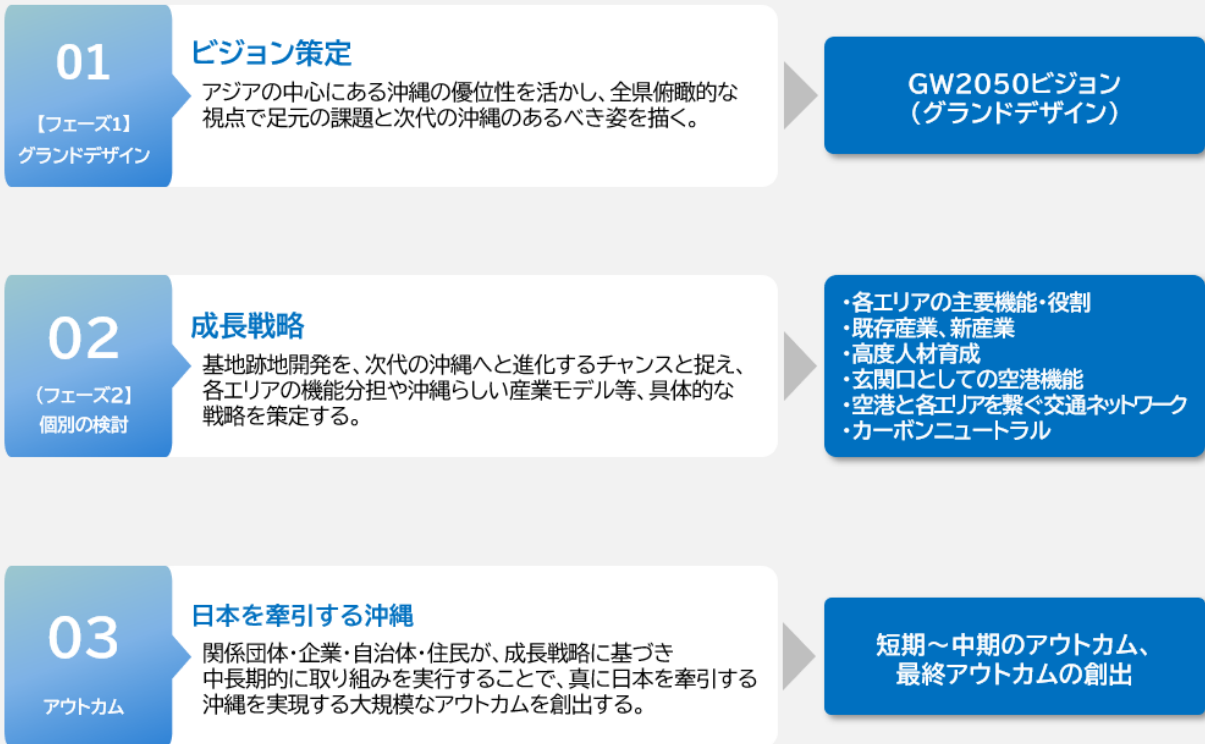
### ■ 事務局

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| (1) 那覇商工会議所 専務理事 | 金城 敦 (事務局長) |
|------------------|-------------|

## 今後の展開について

推進協議会では、2年間の調査・検討を通じてランドデザインを描き、基地返還跡地の機能分担等を成長戦略として取りまとめた上で、主要な施策や提言を行い、将来的に、真に日本を牽引する沖縄を実現する大規模なアウトカムを創出することを目指しております。

### 調査・検討の流れ



## GW2050 PROJECTS 推進協議会 概要

団体名：GW2050 PROJECTS 推進協議会

所在地：沖縄県那覇市旭町 114-4 おきでん那覇ビル内

代表理事：金城 克也（沖縄経済団体会議 議長）

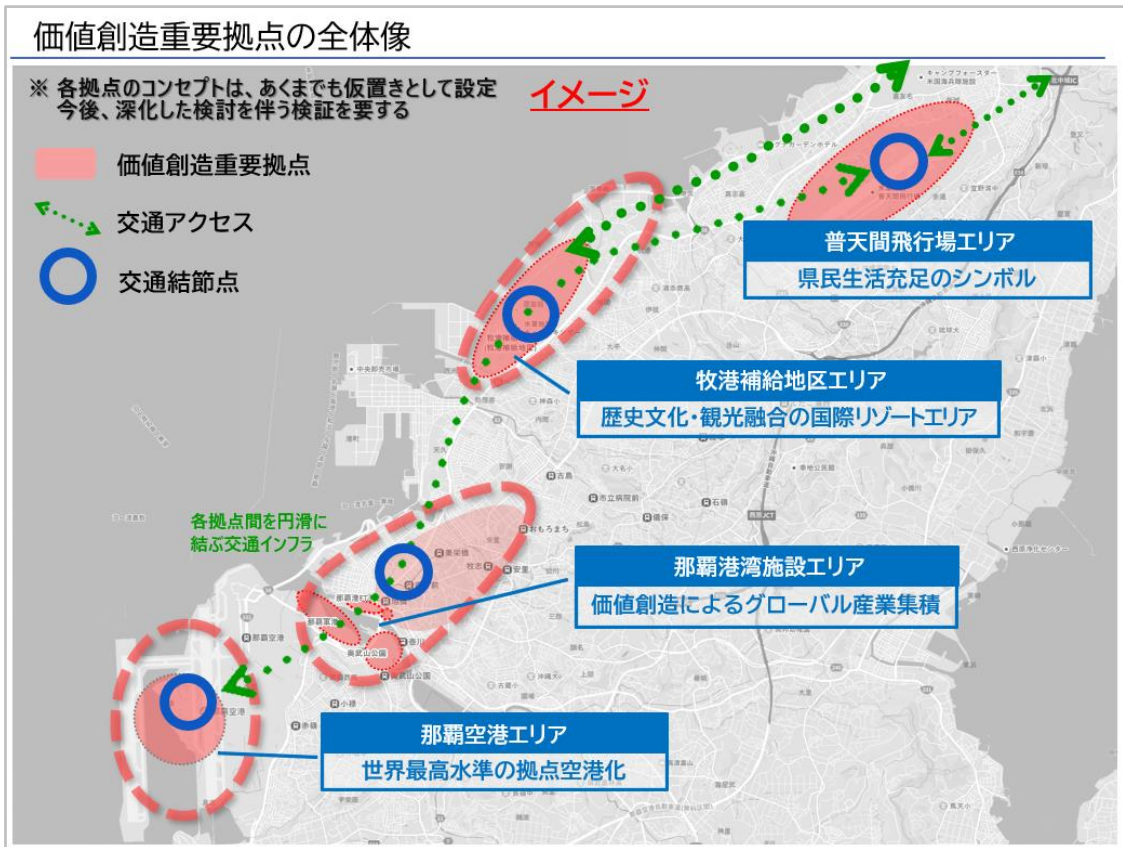
本永 浩之（沖縄未来創造協議会 代表理事）

事業内容：（1）沖縄の中長期的な発展に必要な調査・検討

（2）沖縄の中長期的な発展に必要な政策提言、取組の推進

（3）その他、本協議会の目的達成に資する活動

設立：2024年8月13日



## 価値創造を支える4つの柱

### 1 産業

- 今後沖縄が日本経済を牽引し、強い沖縄経済を目指すためには、既存産業の高度化・高付加価値化を図りつつ、沖縄らしさ(立地特性、歴史・文化等)を活かした国際競争力のある新たな産業の創出と活性化が求められる。
- 沖縄の立地特性を生かしたグローバル産業の集積や、空港機能の強化・拡充と連動した新産業モデル(MRO等)に加え、沖縄科学技術大学院大学(OIST)等を核とした沖縄発スタートアップ等、今後の沖縄県の産業・地域経済を支える柱となる次世代産業について検討・深掘りする。

### 2 人材育成

- 沖縄の持続的発展のためには、高付加価値産業を支える人材が特に重要なことから、次代の沖縄を担う人材の育成に積極的に取り組むこととし、産業モデルの検討と合わせた段階的な人材育成モデルを検討。
- 観光の質向上を支える高度観光人材や、DX人材、経営人材、グローバル人材等の育成を積極的に行うことにより、国際競争力強化を目指す。
- また世界最高水準の教育研究を行うOISTを活かした科学技術人材、新産業人材育成の拠点形成を目指す。

### 3 交通

- 空港機能の拡充と連動し、空港を起点とした各エリア結節点への利便性を考慮した交通ネットワークを検討。
- 富裕層などに対応可能な、多様な交通機能の導入により、観光産業全体の高付加価値化に繋げる。

### 4 環境

- 広大な敷地を更地から開発できる強みを活かし、日本を牽引するゲートウェイとして相応しい環境配慮型の空港整備・まちづくりを推進する。
- 2050カーボンニュートラルに果敢に挑戦するエリアとして、水素エネルギーの利活用等、新たな技術を積極的に実証・導入する。

以上